

赤十字国際ニュース

2016年 第9号 2016年3月11日
(通巻 第1157号)

日本赤十字社 国際部

東京都港区芝大門 1-1-3 TEL 03-3437-7087 / FAX 03-3435-8509

E-mail: kokusai@jrc.or.jp <http://www.jrc.or.jp/>

■海外に届け「たすけあい」の気持ち

日本赤十字社(以下、日赤)は毎年12月、NHKと共同で「NHK 海外たすけあい」キャンペーンを実施しています。昨年12月に実施した平成27年度第33回「NHK 海外たすけあい」には、8万2367件、715,267,248円(平成28年3月時点)のご寄付をお寄せいただきました。

いただいたご寄付は、中東をはじめとする紛争地での人道支援やネパールの防災事業、アフリカでの母子保健事業といった、紛争や災害、病気などで苦しむ人びとを救うために活用させていただきます。

世界で苦しむ人びとに思いを馳せ、多くの皆さまにご協力いただいた「たすけあい」の気持ちに感謝申し上げます。

※今年度の詳細な報告書は、準備が整い次第、ウェブサイトに掲載いたします。

(<http://www.jrc.or.jp/activity/international/join/relief/>)



アクセスが難しい地域でも救援物資を配るシリア赤新月社ボランティア ©Abdulaziz Al-droubi / SARC

■「私たちは、忘れない。」

東日本大震災から今日で5年目を迎えます。

日赤にはこれまでに100の国や地域の赤十字・赤新月社やクウェート政府などから、約1002億円の救援金が寄せられました。日赤はこの資金を活用し、生活再建や教育、医療・社会福祉の支援、原子力災害対応、地域の防災力強化の支援などを行ってきました。

震災から5年を迎えた今年、日赤は「私たちは、忘れない。」とのメッセージを掲げ、全国的なプロジェクトを3月末まで展開中です。日赤職員をはじめとする、赤十字ボランティアや協力企業の方がたなどが「私たちは、忘れない。」のロゴマークがデザインされたバッジやシールを着用するほか、全国の日赤支部を中心に各地で復興支援・防災イベントも行っています。記憶の風化を防ぎ、「たすけあい」と防災の意識を高めることで、震災の経験を私たちの未来へとつなげていきます。

※「私たちは、忘れない。」WEBサイト (wasurenai.jrc.or.jp)



私たちは、忘れない。
Forever remembered.

日本そして世界で支援を必要とする人びとに寄り添い、日赤は今後も「たすけあい」と「ありがとう」の気持ちを胸に、支援活動に取り組んでまいります。

～今回のニュースはいかがでしたか? ご意見・ご感想をお待ちしております～

★..
大募集!
..★

良かった・もっと知りたいテーマや記事、改善してほしい点など下記アドレスにお寄せください。

ご意見・ご感想をいただいた方の中から抽選で毎月1名様に赤十字グッズを差し上げます。

いただいたご意見・ご感想は今後本ニュース内でご紹介させていただく場合があります。

★★ 日本赤十字社国際部 kokusai@jrc.or.jp ★★